



2026年5月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月14日

上場会社名 TONE株式会社 上場取引所 東
コード番号 5967 URL https://www.tonetool.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 矢野 大司郎
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 生駒 崇之 TEL 0721-51-1386
半期報告書提出予定日 2026年1月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年6月1日～2025年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
2026年5月期中間期	百万円 3,407	% △4.0	百万円 491	% △4.4	百万円 551	% △6.5	百万円 377	% △17.7
2025年5月期中間期	3,547	5.9	514	24.2	589	26.1	458	51.9

(注) 包括利益 2026年5月期中間期 729百万円 (129.4%) 2025年5月期中間期 318百万円 (△46.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2026年5月期中間期	円 銭 17.34	円 銭 —
2025年5月期中間期	20.97	—

(注) 当社は、2025年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が実施されたと仮定して、「1株当たり中間純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年5月期中間期	百万円 17,304	百万円 11,690	% 67.6
2025年5月期	14,531	11,298	77.8

(参考) 自己資本 2026年5月期中間期 11,690百万円 2025年5月期 11,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年5月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 9.00	円 銭 9.00
2026年5月期	—	—	—	—	—
2026年5月期（予想）	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 8,400	% 10.6	百万円 1,150	% 14.8	百万円 1,180	% 8.1	百万円 800	% 1.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数（中間期） |

	2026年5月期中間期	2025年5月期	23,426,000株
2026年5月期中間期	750,778株	2025年5月期	478,738株
2026年5月期中間期	21,770,095株	2025年5月期中間期	21,871,111株

(注) 当社は、2025年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結貸借対照表に関する注記)	9
(中間連結損益計算書に関する注記)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資意欲は堅調ではあるものの、物価上昇による個人消費の下押しや米国の関税政策等に伴う外需の落ち込みなど力強さを欠いていることから、先行きは依然として不透明な状況であります。

このような経営環境の中で、当社グループは「『ボルティング・ソリューション・カンパニー』として社会の発展に貢献し、地球上に無くてはならない企業をめざす。」ことを企業理念に掲げ、「ボルト締結分野」においてお客様が求める価値を的確に捉え、「スピード感と一体感のある製品開発体制」を基軸に保有技術を有効的に活用し、より多くのお客様に「ボルト締結」に最適な手段を提供するとともに、「締結」に関する課題解決を通じて「満足」「感動」「価値」を提供してまいりました。併せて、生産効率化をはじめ全社的なコスト削減にも努めてまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の経営成績につきましては、売上高は34億7百万円（前年同期比4.0%減）となりました。また、利益面では営業利益は4億9千1百万円（前年同期比4.4%減）、経常利益は5億5千1百万円（前年同期比6.5%減）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は3億7千7百万円（前年同期比17.7%減）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(国内)

作業工具類の売上高に関しましては、顧客ごとのセール企画や展示会出展や、より多くの人々に工具の魅力を伝えることを目的に行っているモータースポーツの応援（レースチームサポートやレース協賛）による継続的なブランディング活動により「T O N E ブランド」の浸透を図りましたが、先行きの不透明感、および物価高等を背景とした購買活動の鈍化により、売上高は前年同期を下回りました。

機器類の売上高に関しましては、主力製品「シャーレンチ」及び「建方1番」は建築・橋梁市場で高評価を頂いておりますが、国内企業の設備投資、大型物流倉庫や半導体工場の建設及び再開発事業等における、資材高騰や人材不足を要因とした計画見直し等による需要低迷がみられたことで、売上高は前年同期を下回りました。

その結果、売上高は27億3千4百万円（前年同期比5.6%減）となり、セグメント利益は2億4千5百万円（前年同期比21.3%減）となりました。

(海外)

作業工具類の売上高に関しましては、トルクレンチや新製品を中心に提案活動を行ったことにより、売上高は前年同期を上回りました。

機器類の売上高に関しましては、国内同様、主力製品「シャーレンチ」製品群、「ナットランナー」製品群及びボルト締結に重要な役割を果たす「トルク管理機器」製品群等の拡張に向けた提案活動を行ったことにより、北米の建設需要を獲得したものの、他エリアでの景気後退があり、売上高は前年同期を下回りました。

その結果、売上高は6億7千3百万円（前年同期比3.6%増）となり、セグメント利益は2億4千5百万円（前年同期比21.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、173億4百万円（前連結会計年度末145億3千1百万円）となり前連結会計年度末に比べ27億7千2百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金の増加29億9千6百万円等によるものです。

(負債)

負債合計は、56億1千3百万円（前連結会計年度末32億3千3百万円）となり前連結会計年度末に比べ23億8千万円増加しました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加2億3千5百万円、長期借入金の増加20億3千3百万円等によるものです。

(純資産)

純資産合計は、116億9千万円（前連結会計年度末112億9千8百万円）となり前連結会計年度末に比べ3億9千2百万円増加しました。この主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上3億7千7百万円等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、49億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億9千6百万円の増加となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれぞれの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動においては、税金等調整前中間純利益5億5千1百万円、棚卸資産の減少3億9千万円、仕入債務の減少6千8百万円、法人税等の支払額1億3千6百万円等により、資金はプラス11億9百万円（前年同期はマイナス3億2千3百万円）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動においては、有形及び無形固定資産の取得による支出2千7百万円等により、資金はマイナス2千5百万円（前年同期はマイナス1億1千5百万円）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動においては、長期借入れによる収入25億円、長期借入金の返済による支出2億3千万円、配当金の支払額1億7千8百万円等により、資金はプラス19億1千5百万円（前年同期はマイナス4億4百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月期の業績予想につきましては、2025年7月11日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	1,913,048	4,909,352
受取手形及び売掛金	1,717,075	1,419,468
商品及び製品	2,929,770	2,816,408
仕掛品	478,523	507,268
原材料及び貯蔵品	1,598,727	1,281,960
その他	84,629	88,725
貸倒引当金	△6,282	△5,227
流动資産合計	8,715,492	11,017,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,099,890	1,065,272
機械装置及び運搬具（純額）	191,343	168,194
工具、器具及び備品（純額）	59,553	53,098
土地	1,585,089	1,585,089
建設仮勘定	190,830	204,465
有形固定資産合計	3,126,707	3,076,120
無形固定資産		
その他	30,875	24,045
無形固定資産合計	30,875	24,045
投資その他の資産		
投資有価証券	2,293,262	2,829,880
退職給付に係る資産	31,914	31,487
繰延税金資産	—	2,863
その他	333,654	321,740
投資その他の資産合計	2,658,831	3,185,973
固定資産合計	5,816,414	6,286,138
資産合計	14,531,906	17,304,095

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	440,246	360,296
1年内返済予定の長期借入金	359,560	594,904
1年内償還予定の社債	7,000	7,000
未払法人税等	137,485	139,378
賞与引当金	80,471	15,678
未払金	203,092	163,376
未払費用	51,755	105,146
その他	97,433	155,608
流動負債合計	1,377,045	1,541,388
固定負債		
長期借入金	1,401,378	3,435,086
社債	36,000	32,500
繰延税金負債	316,372	503,407
資産除去債務	3,780	3,780
長期未払金	1,400	1,400
株式給付引当金	93,143	92,071
その他	4,000	3,600
固定負債合計	1,856,073	4,071,845
負債合計	3,233,118	5,613,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	605,000	605,000
資本剰余金	807,813	805,308
利益剰余金	9,556,164	9,727,089
自己株式	△612,235	△740,260
株主資本合計	10,356,741	10,397,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	858,290	1,240,233
為替換算調整勘定	83,756	53,491
その他の包括利益累計額合計	942,046	1,293,724
純資産合計	11,298,788	11,690,862
負債純資産合計	14,531,906	17,304,095

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
売上高	3,547,646	3,407,232
売上原価	2,074,215	2,018,575
売上総利益	1,473,430	1,388,657
販売費及び一般管理費	959,288	897,007
営業利益	514,142	491,650
営業外収益		
受取利息	2,641	586
受取配当金	39,354	49,741
保険解約返戻金	47,628	—
為替差益	—	15,014
その他	14,504	15,706
営業外収益合計	104,128	81,049
営業外費用		
支払利息	9,961	15,890
社債利息	237	203
為替差損	15,417	—
支払手数料	—	4,861
その他	2,855	369
営業外費用合計	28,471	21,325
経常利益	589,799	551,373
税金等調整前中間純利益	589,799	551,373
法人税、住民税及び事業税	70,868	144,426
法人税等調整額	60,194	29,496
法人税等合計	131,063	173,923
中間純利益	458,735	377,450
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	458,735	377,450

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
中間純利益	458,735	377,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91,768	381,943
為替換算調整勘定	△48,954	△30,265
その他の包括利益合計	△140,723	351,677
中間包括利益	318,012	729,128
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	318,012	729,128
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	589,799	551,373
減価償却費	77,009	72,351
為替差損益（△は益）	△8,462	24,712
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△854	△1,055
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	2,515	427
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△4,500	—
賞与引当金の増減額（△は減少）	△73,175	△64,793
株式給付引当金の増減額（△は減少）	△7,595	△1,071
受取利息及び受取配当金	△41,996	△50,327
支払利息	10,198	16,094
保険解約返戻金	△47,628	—
有形及び無形固定資産売却損益（△は益）	—	0
売上債権の増減額（△は増加）	281,716	295,684
棚卸資産の増減額（△は増加）	△714,695	390,055
仕入債務の増減額（△は減少）	△281,840	△68,472
未払消費税等の増減額（△は減少）	—	△16,896
未収消費税等の増減額（△は増加）	79,871	—
その他	△45,070	66,596
小計	△184,708	1,214,678
利息及び配当金の受取額	42,532	50,110
利息の支払額	△10,043	△18,935
法人税等の支払額	△171,196	△136,331
営業活動によるキャッシュ・フロー	△323,415	1,109,522
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△174,749	△27,589
保険積立金の積立による支出	△1,660	△1,845
保険積立金の解約による収入	60,719	—
差入保証金の回収による収入	76	197
ゴルフ会員権の売却による収入	—	4,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115,614	△25,237
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	2,500,000
長期借入金の返済による支出	△198,530	△230,948
社債の償還による支出	△3,500	△3,500
配当金の支払額	△202,547	△178,927
リース債務の返済による支出	△312	—
自己株式の取得による支出	—	△171,240
財務活動によるキャッシュ・フロー	△404,890	1,915,383
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,442	△3,364
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△853,362	2,996,304
現金及び現金同等物の期首残高	2,248,514	1,913,048
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,395,151	4,909,352

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間において、2025年7月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式348,000株の取得を行いました。また、2025年8月28日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行ったことにより、自己株式が76,000株減少しております。この結果、自己株式が128,024千円増加し、当中間連結会計期間末において、自己株式が740,260千円となっております。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※ 中間連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権

期末日満期手形及び電子記録債権の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。なお、当中間連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形及び電子記録債権を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (2025年11月30日)
受取手形	230千円	一千円
電子記録債権	13,835千円	17,299千円

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
給料手当賞与	271,326千円	256,050千円
退職給付費用	5,774千円	5,204千円
賞与引当金繰入額	12,569千円	8,773千円

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりです。

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
現金及び預金勘定	1,395,151千円	4,909,352千円
現金及び現金同等物	1,395,151千円	4,909,352千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

① 前中間連結会計期間（自 2024年6月1日 至 2024年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			中間連結損益計算書計上額（注）
	国内	海外	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,897,613	650,032	3,547,646	3,547,646
計	2,897,613	650,032	3,547,646	3,547,646
セグメント利益	312,616	201,525	514,142	514,142

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

② 当中間連結会計期間（自 2025年6月1日 至 2025年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			中間連結損益計算書計上額（注）
	国内	海外	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,734,114	673,118	3,407,232	3,407,232
計	2,734,114	673,118	3,407,232	3,407,232
セグメント利益	245,891	245,758	491,650	491,650

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。